

令和5年度

応神小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎学力定着のために、個別学習や繰り返し学習を実践する。
- 主体的な学びと想いを伝え合う授業を実践する。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	教頭 研修主任	濱田 実
教務 長尾 博子		人権教育主事 特別支援コーディネーター	野口 弘子 吉田 優香 荒井 直美

校長

田浦 良浩

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等で取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題に真面目に取り組み、学習内容を習得しようと努力できる。 ●正確に計算したり、文章の内容を理解したりすることに課題がある児童がいる。	・学年相応の漢字の読み書きや基礎的な計算が正しくできる。 ・読書の時間を確保する。 ・文章問題が正確に解ける。 ・自ら意図をもって、日常的にタブレットが使える。	・学校独自の学年別漢字テストを全校で実施する。 ・朝の活動時や授業時間内に計算学習や辞書の活用や音読を行う。 ・読書をする時間を意図的に設定する。 ・日常的にタブレットを使う。	・初見の文章でも内容理解ができるような学習を取り入れる。	・本稿独自の学年別漢字テストは全校で実施できた。 ・計算学習と音読は実施できた。 ・初見の文章の読み取りも実施できた。 ・辞書やタブレットの活用、読書の時間設定は学年により差があった。	・どうすれば初見の文章が早く、正確に読み取れるかを考え、実践する。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○気の合う友達や少人数のグループでは、自分の考えが伝えられる。 ●必要な情報を選んだり、自分の考えを見直したりすることに課題がある児童がいる。	・自分に必要な情報を選び、自分の考えを絵や文でまとめられる。 ・人の考えを聞き、自分の考えを見直したり膨らませたりする。	・自分の考えをまとめる時間を設定し、まとめ方を具体的に提示する。 ・互いに考えを伝え合う雰囲気大切に、自分の考えと相手の考えを比較する時間を設定する。	・必要な情報を選んで問題解決をする場面を意図的に設定する。	・自分で考えをまとめる時間の設定はできたがまとめ方の提示が十分ではなかった。 ・自分の考えと相手の考えを比較したり必要な情報を選んだりする時間の設定はできた。	・相手に分かるように伝えられる表現の仕方を学習させる実践をする。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○興味・関心のある学習には一生懸命取り組める。 ●自分で学習の準備をしたり、問題意識を持って追求したりすることに課題がある児童がいる。	・学習に主体的に取り組める。 ・自分で学習の準備ができる。 ・自分で問題意識を持ち、課題を解決しようとする。	・学習に興味をわくような教室環境を作ったり言葉かけをしたりする。 ・家庭学習のてびきや自主学習のやり方を配布し、自己評価をさせ、家庭との連携を図るとともに自覚を促す。	・学校や家庭で意図的に褒めるようにする。	・学習に興味をわくような環境や言葉かけはできた。 ・家庭への啓発もできたが、自主的に学習に取り組む自覚を促すことは十分ではなかった。	・自主的に学習できる手立てを考え、家庭と協力しながら実践する。

令和5年度 学力向上ロードマップ

